

2024年3月期
決算説明資料

共英製鋼株式会社

(東証プライム：5440)

1

決算ハイライト

2

2024年3月期 通期決算報告

3

2025年3月期 通期業績予想

1

決算ハイライト

2

2024年3月期 通期決算報告

3

2025年3月期 通期業績予想

■ 2024年3月期 実績

- ・ 売上高 3,210億円、経常利益 210億円（前年比で減収増益）
- ・ 出荷量 307万トン
国内：158万トン、海外：149万トン（前期比 ▲21万トン）
- ・ 国内鉄鋼事業はメタルスプレッド拡大で増収増益、
海外鉄鋼事業はベトナム拠点の不動産不況などで赤字計上
- ・ VKS社は、連結決算において、4Qに減損損失 約50億円を計上
- ・ 年間配当金は1株当たり80円から90円に10円増配（中間 15円、期末 75円）

■ 2025年3月期 業績予想

- ・ 売上高 3,370億円、経常利益 190億円（2024年度実績対比で増収減益）
- ・ 出荷量 329万トン（国内：160万トン、海外：168万トン）
- ・ 国内鉄鋼事業は減益で見通すも、海外鉄鋼事業の回復でカバー
- ・ 年間配当予想 1株当たり90円（中間 30円、期末 60円）

1

決算ハイライト

2

2024年3月期 通期決算報告

3

2025年3月期 通期業績予想

2024年3月期 業績

- ・ 前期対比で減収増益

期間：2023年4月1日～2024年3月31日

	単位	2023年3月期	2024年3月期	3Q時点予想 通期	増減		参考:4/19予想 通期
		通期	通期		対前期	対予想	
売上高	億円	3,557	3,210	3,240	▲ 347 ▲9.8%	▲30 ▲0.9%	3,210
営業利益		148	211	200	+62 +42.1%	+11 +5.3%	210
経常利益		147	210	190	+64 +43.4%	+20 +10.7%	210
当期純利益		131	138	130	+7 +5.5%	+8 +6.4%	138

- 国内鉄鋼事業の大幅増益によって海外鉄鋼事業の赤字と環境リサイクル事業の減益をカバー

売上高

(億円)

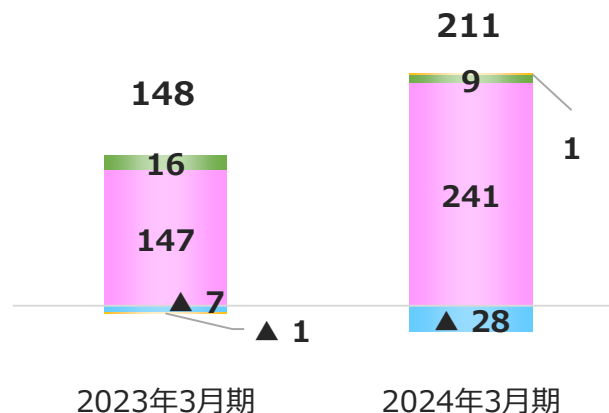
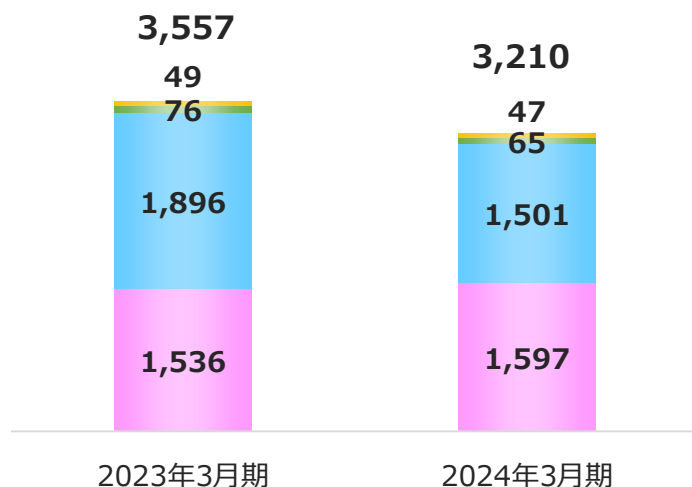
	2023年3月期			2024年3月期			前回予想 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
国内鉄鋼事業	758	778	1,536	801	796	1,597	1,615
海外鉄鋼事業	1,008	888	1,896	698	803	1,501	1,490
環境リサイクル事業	38	38	76	32	33	65	80
その他事業	23	25	49	24	23	47	55
合計	1,828	1,729	3,557	1,555	1,654	3,210	3,240

営業利益

(億円)

	2023年3月期			2024年3月期			前回予想 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
	50	97	147	124	117	241	230
	6	▲ 13	▲ 7	▲ 23	▲ 5	▲ 28	▲ 30
	9	8	16	4	6	9	9
	▲ 1	1	▲ 1	0	1	1	1
合計	61	87	148	99	111	211	200

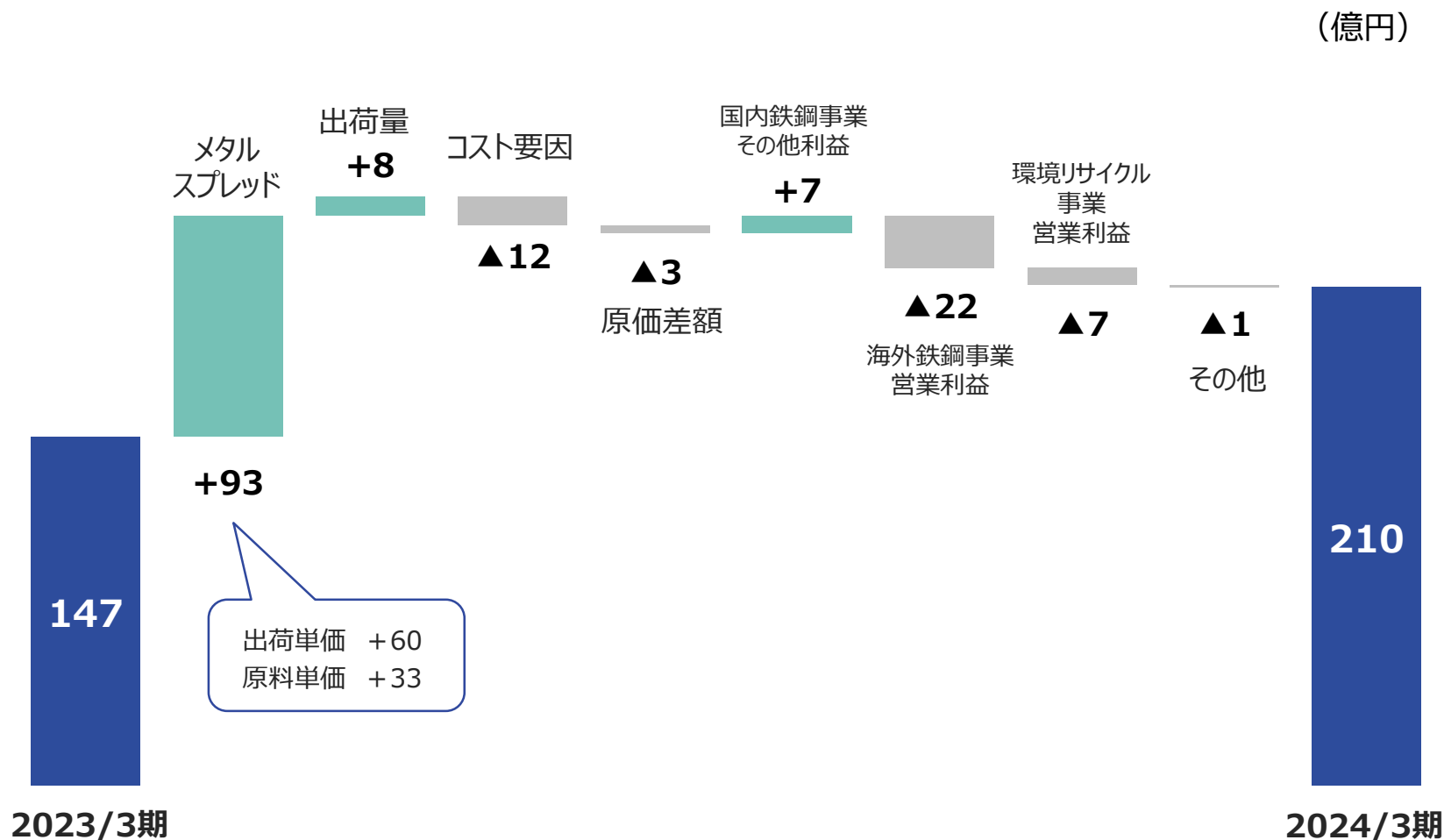
※ 営業利益合計との差異は、消去または全社費用分
 ※ 前回予想は3Q時点の公表値



国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

経常利益の変動要因 (前期対比)

- ・ 当期の経常利益が 前期対比 63億円増加した要因



国内鉄鋼事業

売上高：1,597億円

営業利益：241億円

前期対比 増収・増益

- 生産量・出荷量ともに前期実績を上回る
- 製品単価は製造コスト上昇を受けた価格引き上げが浸透、一方で鉄スクラップ単価は海外需要の減退により下落し、前期対比でスプレッドが拡大

海外鉄鋼事業

売上高：1,501億円

営業利益：▲28億円

前期対比 減収・減益

- **ベトナム**
前年下期以降、金利高や不動産不況の影響を大きく受けハウジング需要が停滞、プロジェクト向け案件獲得に注力するも販売価格改善せず赤字計上
- **北米**
需要は引き続き堅調なるも、米国拠点の設備老朽化や漏鋼事故の影響での減産によるコスト高影響大

環境リサイクル事業

売上高： 65億円

営業利益： 9億円

前期対比 減収・減益

- 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う医療廃棄物処理案件の大幅減少と当社グループ最大の処理拠点山口事業所の定修工事の一時的な荷止めの影響で処理量減少

その他事業（鉄鋼周辺事業）

売上高： 47億円

営業利益： 1億円

前期対比 減収・増益

- ベトナム港湾事業：
VKS社減産による輸入スクラップ取り扱い量減少により減益
- ベトナム鋳物事業：
鋳物需要が落ち込み数量減となるもスプレッド拡大で増益
- 国内鋳物事業：
粘り強い販売価格引き上げがようやく奏功し、黒字化

2024年3月期 配当について

- 1株当たり期末配当金を、65円から75円へ10円増配（4月19日公表）
これに伴い、年間配当金は80円から過去最高の90円へ増配

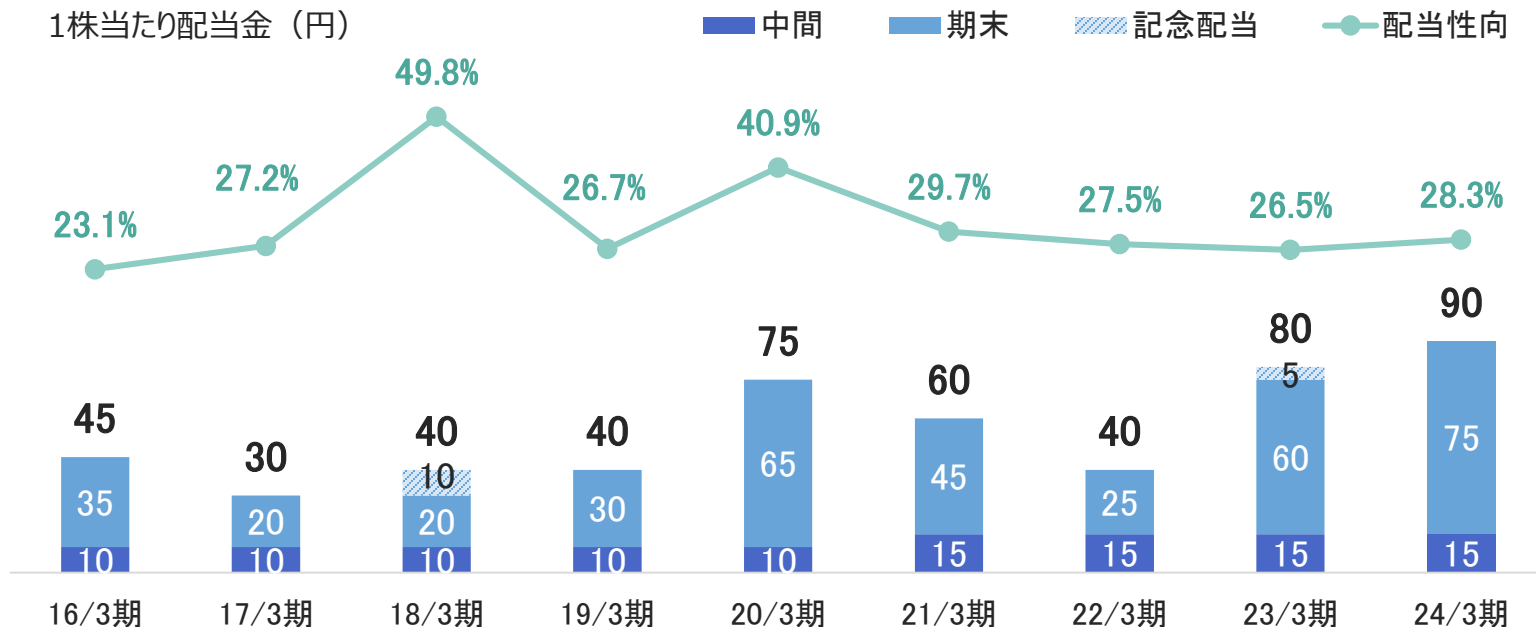
	単位	2023年3月期			2024年3月期			前回予想	
		中間	期末	年間	中間	期末	年間	配当性向	年間
1株当たり配当金	円	15	65	80	15	75	90	28.3%	80

※ 記念配当 5円含む

※ 前回予想は3Q時点の公表値

配当・配当性向の推移

1株当たり配当金（円）



1

決算ハイライト

2

2024年3月期 通期決算報告

3

2025年3月期 通期業績予想

- ・ 新中期経営計画がスタート

2024年3月期対比で増収ながら減益を予想

	単位	2024年3月期			2025年3月期			
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減率 (対前年実績)
売上高	億円	1,555	1,654	3,210	1,640	1,730	3,370	(+5.0%)
営業利益		99	111	211	75	115	190	(▲9.8%)
経常利益		100	110	210	75	115	190	(▲9.7%)
当期純利益		79	60	138	50	75	125	(▲9.6%)

配当方針の見直し

- ・ 企業価値向上に向けた内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続
- ・ **配当性向(連結)25~30%から30~35%に変更**
- ・ 中間配当を15円から30円に増額（1株当たり年間配当の下限は30円）

2025年3月期 配当予想

- ・ 1株当たり 中間配当30円（+15円）、期末配当60円の年間90円

		2025年3月期			
	単位	中間	期末	年間	配当性向
1株当たり 配当金	円	30	60	90	31.3%

セグメント別通期業績予想

- ・ 国内鉄鋼事業は、コスト増加を見込み減益となる見通し
- ・ 海外鉄鋼事業は、ベトナム拠点の業績回復を見込み通期で黒字化となる見通し

売上高

(億円)

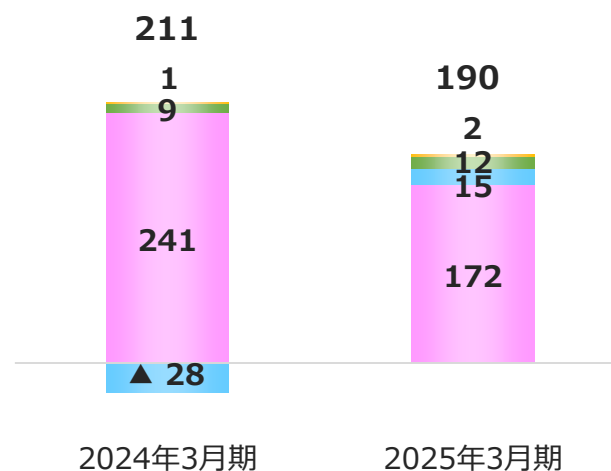
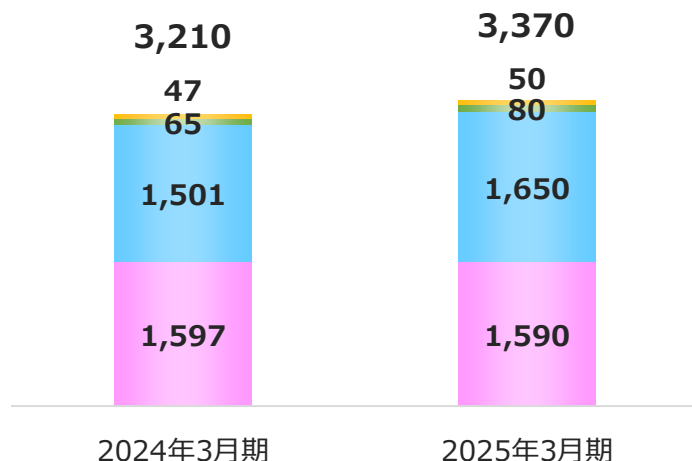
	2024年3月期			2025年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
国内鉄鋼事業	801	796	1,597	790	800	1,590
海外鉄鋼事業	698	803	1,501	785	865	1,650
環境リサイクル事業	32	33	65	40	40	80
その他事業	24	23	47	25	25	50
合計	1,555	1,654	3,210	1,640	1,730	3,370

営業利益

(億円)

	2024年3月期			2025年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
	124	117	241	85	87	172
	▲ 23	▲ 5	▲ 28	▲ 11	26	15
	4	6	9	5	7	12
	0	1	1	1	1	2
合計	99	111	211	75	115	190

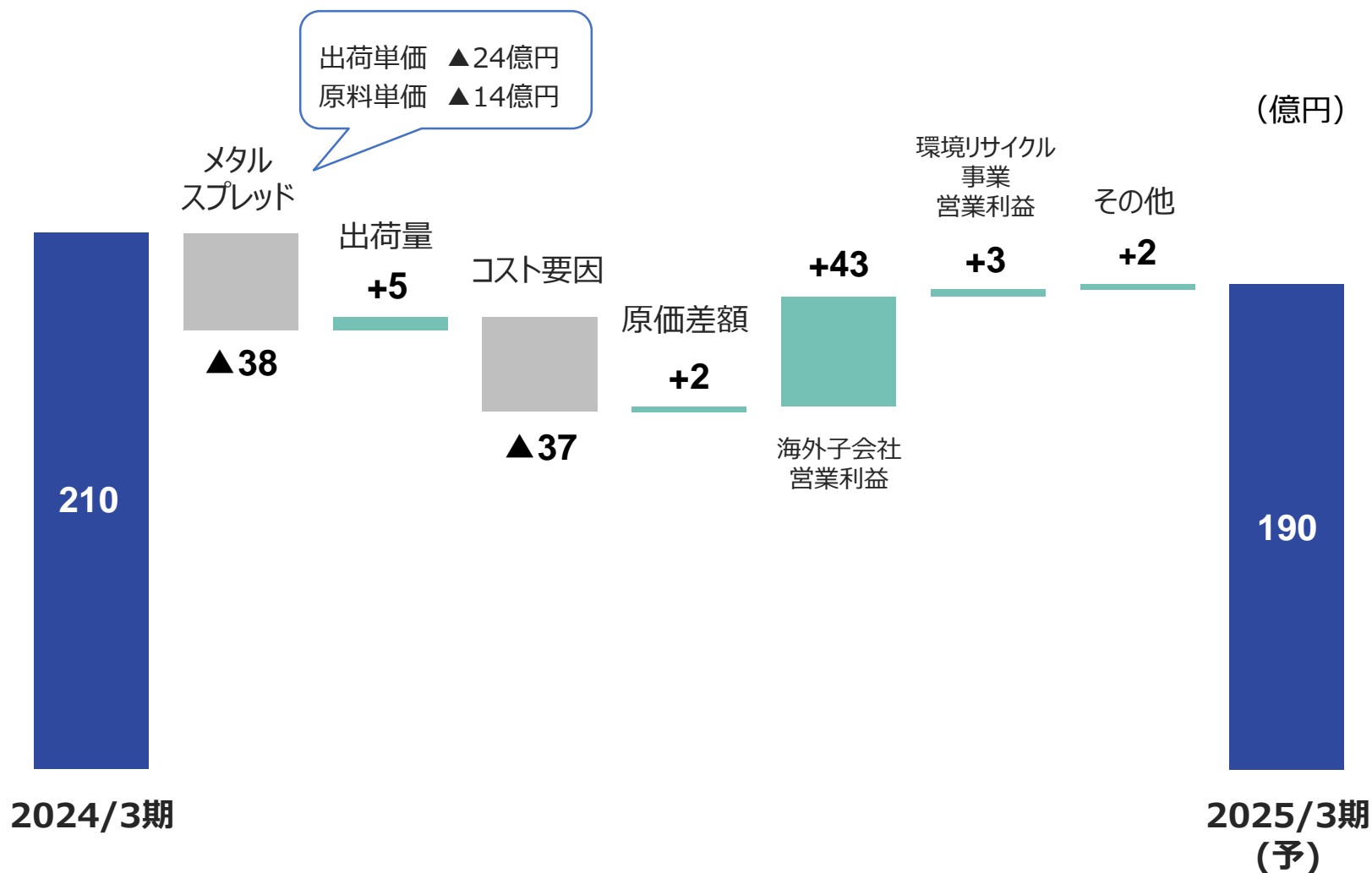
※営業利益合計との差異は、消去または全社費用分



国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

経常利益の変動要因：2024年3月期実績対比

- ・ 2025年3月期の経常利益が前期対比 20億円減少する要因



セグメント別通期業績予想（1）

国内鉄鋼事業

売上高：1,590億円

営業利益：172億円

前期対比 減収・減益予想

- 国内鉄鋼需要は前期からほぼ横ばいで推移し、生産量・出荷量は前期対比で同水準の見通し
- 製造コストなどの上昇が想定され、単価引き上げを継続しメタルスプレッドの維持に努める

海外鉄鋼事業

売上高：1,650億円

営業利益：15億円

前期対比：増収・増益予想

- **ベトナム**
需要は先行き不透明感が強いものの下期以降、緩やかに回復する見通し
プロジェクト向けに重点を置いた販売ポートフォリオを再構築し、製造・販売面ともに業績の変動リスクを軽減した経営に努める
- **北米**
設備トラブルが課題視される米国拠点はグループ間の技術サポートにより生産性向上を目指す
カナダ拠点は、需要堅調な中、細物鉄筋の生産をテコに前期対比で増産増販の計画

セグメント別通期業績予想（2）

環境リサイクル事業

売上高： 80億円

営業利益： 12億円

前期対比 増収・増益予想

- 前期はコロナ案件の消失という外部要因と、処理量減少の内部要因の両方によって減益となったが、グループ間連携の強化や営業体制の見直しなどに取り組み、増収増益を目指す

その他事業（鉄鋼周辺事業）

売上高： 50億円

営業利益： 2億円

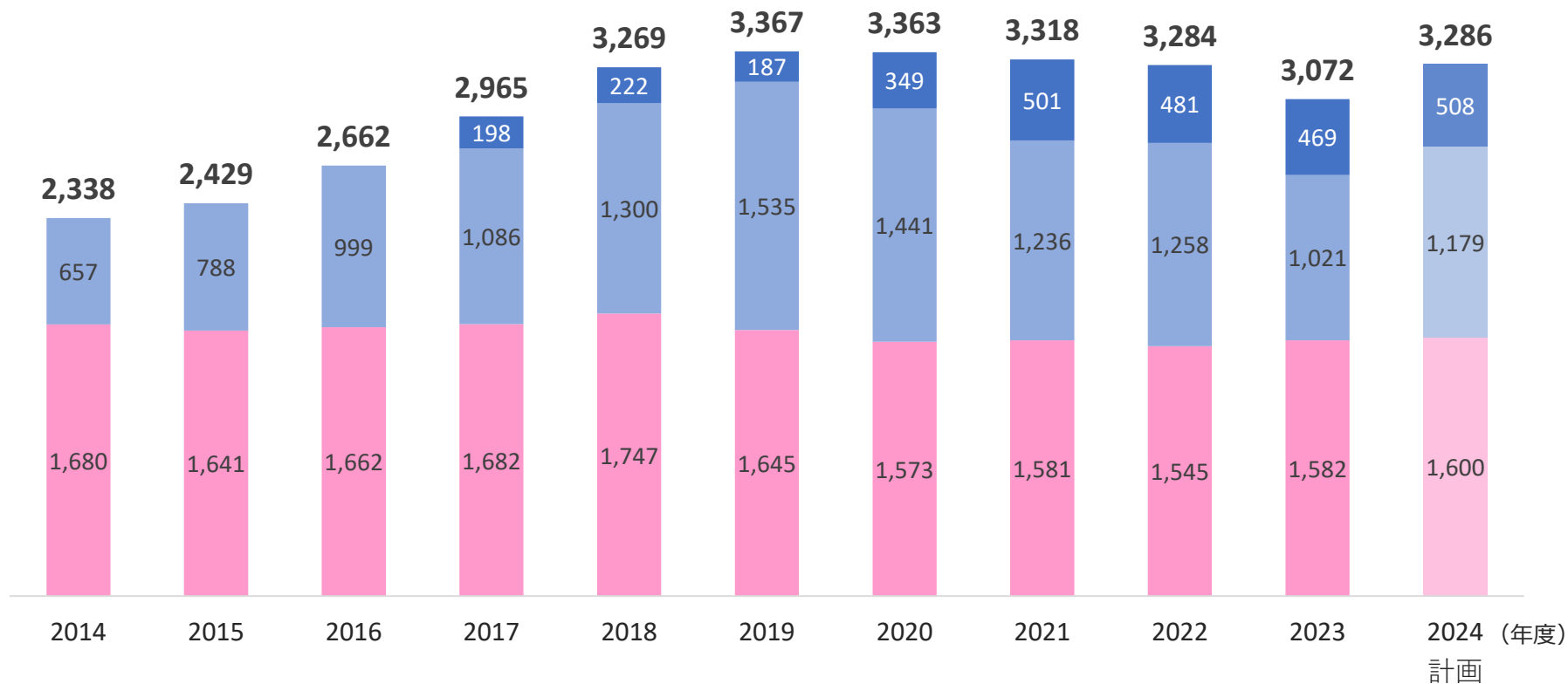
前期対比 増収・増益予想

- ベトナム港湾事業：
VKS社の輸入スクラップ増量および新規取扱貨物の増量に努め、黒字化を目指す
- ベトナム鋳物事業：
高難度な製品の製造体制を強化し、中国・日本からの移管案件の獲得に注力
- 国内鋳物事業：
引き続き販価引き上げの浸透とコスト削減に取り組み利益体質の強化を図る

製品出荷量推移：国内・海外

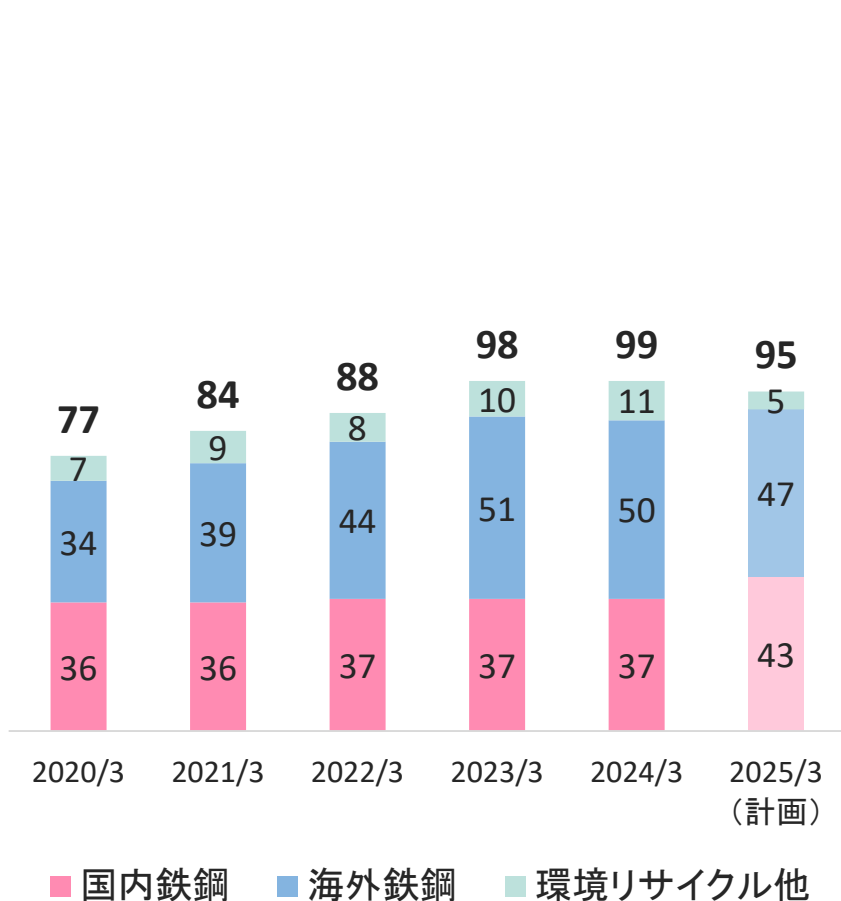
- 国内（共英+関東S）
- ベトナム
- 北米

(千トン)



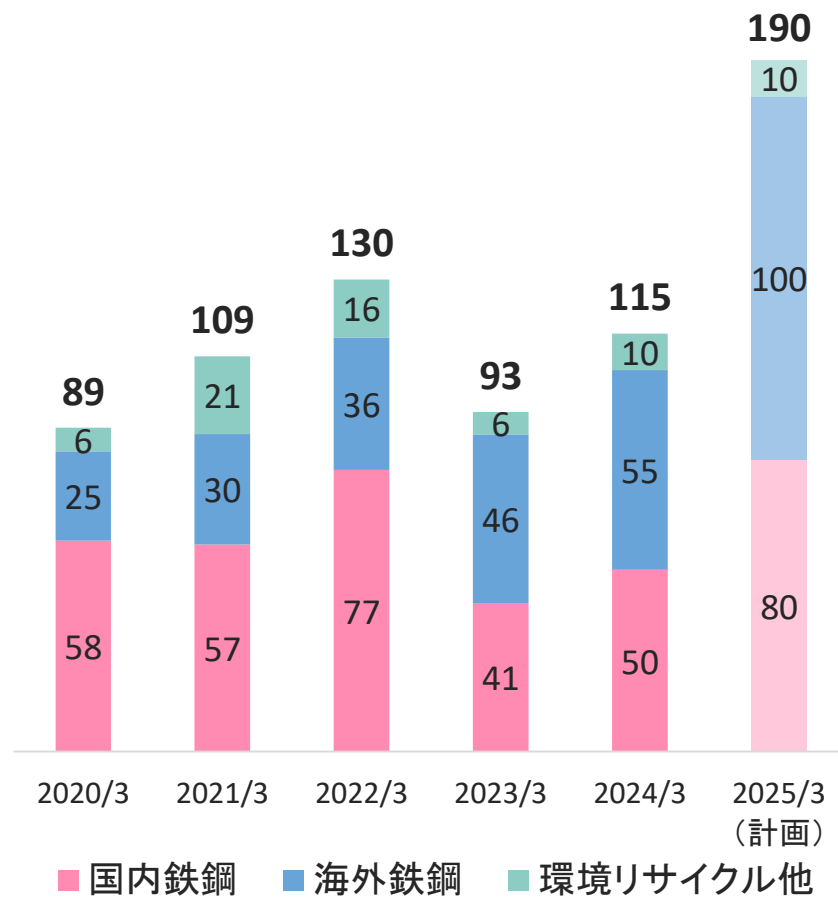
減価償却

(億円)



設備投資

(億円)



参考：連結貸借対照表

■ 資産の部

(単位：億円)

	2023/3末	2024/3末	増減
現金預金	577	576	▲ 1
売上債権	814	934	121
棚卸資産	675	650	▲ 25
その他	40	48	9
流動資産合計	2,106	2,209	103
有形固定資産	1,022	1,014	▲ 7
無形固定資産	40	38	▲ 2
投資有価証券	209	281	72
固定資産計	1,271	1,333	62
資産合計	3,377	3,542	165

■ 参考：経営指標

	2023/3末	2024/3末	増減
自己資本比率	53.2%	54.9%	1.7pt
ネットDELシオ	0.23倍	0.18倍	▲0.05pt

■ 負債・純資産の部

	2023/3末	2024/3末	増減
仕入債務	190	252	62
短期借入金	626	601	▲ 24
その他	181	226	45
流動負債合計	996	1,079	83
社債	100	100	0
長期借入金	270	226	▲ 43
その他	109	122	13
固定負債合計	479	449	▲ 30
負債合計	1,475	1,528	52
純資産の部			
自己資本	1,797	1,946	150
非支配株主持分	105	68	▲ 37
純資産の部合計	1,902	2,014	113
負債・純資産合計	3,377	3,542	165

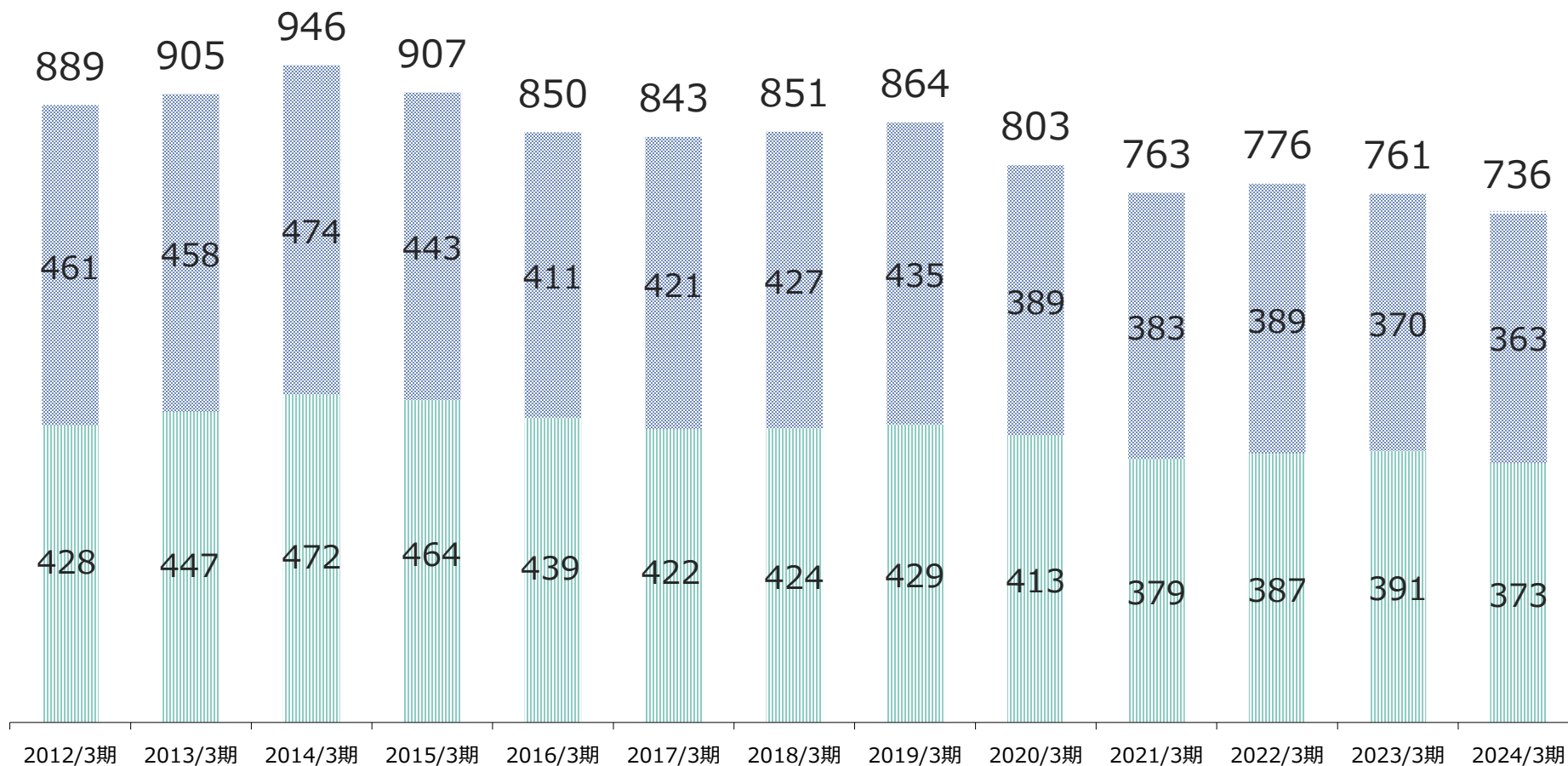
(単位：億円)

	2023/3末	2024/3末	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	193	243	50
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 61	▲ 170	▲ 109
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 90	▲ 142	▲ 52
現金・現金同等物の 期末残高	324	261	▲ 63

参考：小形棒鋼生産量推移

■ 上期 ■ 下期

(万トン)



(出典) 日本鉄鋼連盟資料

参考：当社グループの国内拠点



山口事業所

異形棒鋼（全サイズ）、構造用棒鋼、
小形形鋼（平鋼、Iバー、等辺山形鋼）



枚方事業所

異形棒鋼（細物）、丸鋼



共英産業(株)

鉄筋加工、鋼材販売ほか



共英マテリアル(株)

スクラップ集荷・加工



(株)吉年 鋳物製造



(株)共英メソナ

環境リサイクル事業



関東事業所

異形棒鋼（細物）



名古屋事業所

異形棒鋼（全サイズ）、
ネジ節鉄筋、高張力鋼

その他の国内拠点

- ・ 共英リサイクル(株)
- ・ 共英加工販売(株)
- ・ みどり精密工業(株)
- ・ 中山鋼業（持分法適用）



参考：当社グループの海外拠点（ベトナム）



1 ベトナム・イタリー・スチール社（VIS社）

ベトナム フンエン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：製鋼45万トン/年、
圧延30万トン/年



製鋼工場（ハイフォン）

2 キョウエイ・スチール・ベトナム社（KSVC社）

ベトナム ニンビン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：圧延30万トン/年



3 ビナ・キョウエイ・スチール社（VKS社）

ベトナム バリア・ブントウ省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、丸鋼、形鋼、線材）

生産能力：製鋼50万トン/年、圧延90万トン/年



4 チー・バイ・インターナショナル・ポート社（TVP社）

ベトナム バリア・ブントウ省

事業内容：港湾事業



5 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（VJE社）

ベトナム ハイフォン市

事業内容：鋳鉄製品製造・販売

生産能力：9,000トン/年





アルタ・スチール
(アルバータ州)

1

ビントン・スチール
(テキサス州)

2



1 アルタ・スチール（AltaSteel）社

カナダ アルバータ州

事業内容：鋼材の製造・販売、
スクラップメタルの処理・販売

生産能力：製鋼30万トン/年
圧延27万トン/年

設立年：2020年（創業は1955年）

2 ビントン・スチール（Vinton）社

米国 テキサス州

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、鉄球）

生産能力：製鋼25万トン/年、
圧延20万トン/年（棒鋼）
鍛造 5万トン/年（鉄球）

設立年：1962年

免責事項

- 本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予想が記述されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。
- これらの情報を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。

 **共英製鋼株式会社**